

2月定例記者会見会議録概要

2021（令和3）年2月2日（火）午後2時～
市役所本庁4階 庁議室

1. 市長からの発表

2月に入りました。今日は、2月2日で節分です。

節分は、例年2月3日ですが、今年は暦のずれの影響で、明治30年以来、124年ぶりに2月2日が節分、2月3日が立春になるとのことです。

暦では寒さがあけて春に入る日で、春の始まりになります。我々もよい春になるようにしたいものです。

さて、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。1月15日から2月7日までを「伊賀市感染拡大防止強化期間」としており、学校施設利用の新規予約を停止させていただき、イベントなど開催の自粛をお願いしております。今一度、感染防止対策を徹底し、しっかりとこの危機を乗り越えていきたいと思っております。

市民の皆さんにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

(1) 伊賀市におけるGIGAスクール構想の推進について

令和元年12月に文部科学省がGIGAスクール構想を発表し、子どもたち1人に1台のタブレット端末と高速・大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、これからの子どもたちに必要とされる資質、能力の育成をめざしていく方針を示しました。

当初の国の計画が、新型コロナウイルス感染の影響により前倒しとなり、伊賀市においても、今年度中に市内の各小中学校の児童生徒に対して1人に1台のタブレット端末を整備することとなりました。

教育環境に必要な各小中学校内のネットワーク整備もほぼ完了しています。タブレット端末は、現時点で29校中12校の納入が完了しており、今月末には整備を完了する予定です。

令和3年度から児童生徒がタブレット端末を授業で使えるように、教職員には研修会を行っています。

(2) 伊賀上野城下町ホテル事業PR動画が完成しました

昨年11月に伊賀上野城下町ホテルが開業しました。現在、伊賀市とJR西日本が業務連携を行い共同で広報事業に取り組んでいるところです。

この度、その取組の一環としてPR動画が完成しましたので発表します。

この動画は、伊賀市が松尾芭蕉生誕の地ということで、旅の俳句を紹介しながら「日本の20世紀遺産20選」に選定された名建築の数々とNIPPONIAホテルを巡るもので、歴史情緒あふれる伊賀上野城下町の魅力を美しい映像により紹介するものです。

今日から伊賀市公式YouTubeで公開し、関西・中部圏の方をターゲットにして、直接web広告配信を行うなど、動画配信を通じて広く旅先としての「伊賀上野」の認知拡大や観光誘客を図っていく計画です。

NIPPONIAホテルは、昨年12月末までの稼働率が90%を越えるなど、想定以上の高

い稼働率でスタートしました。

小規模分散型ホテルでコロナ禍でも安全な旅ができるということもあり、時代に適した事業であることを実感しております。今後、㈱NOTE 伊賀上野（事業主体）と共に2期開発を進めていき、取組を拡大していく予定です。

（3）伊賀市空き家バンク「オンライン内覧会」を開始しました

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、テレワークの普及等により都市部から地方へ移住の関心が高まっております。

平成28年より開始している伊賀市空き家バンクは、都市部を中心として緊急事態宣言が発令される中、県外移動の自粛の影響により、現地での物件内覧が難しくなり、成約数が伸び悩んでいる状況です。

そこで、コロナ禍において物件を検討されている方にご利用いただくため、オンラインによる物件内覧会を開始しました。これは、現地にいるスタッフとビデオ通話によりリアルタイムで会話をしながら物件の見学をすることができます。

既に、1月からオンライン内覧会を開始しており、7世帯の方にご利用いただきました。利用者からは「オンラインでも現地に行っているのと変わらないくらい部屋の様子や外観の様子がわかった」、「遠方からでも家の様子を見られるのが良い」等の声をいただいています。

コロナ禍で人の動きが停滞しているからこそ、これをチャンスと捉え、他市より先行してオンライン化を進めていき、取組を強化したいと考えております。

（4）忍者市月間における忍者市プロジェクト事業の実施について

伊賀市では、伊賀が忍者の本流地であることを対外的に示すとともに、伊賀市民が忍者発祥の地であることを改めて認識し、市民一人ひとりが忍者の歴史文化や精神を継承し、官民一体となって忍者を活かした観光まちづくりをめざしていくため、平成29年2月22日に忍者市宣言をしました。

この宣言に則り、広く忍者市を発信するため、毎年2月を「忍者市月間」と称し、官民連携による忍者市プロジェクト事業を実施しており、今年も様々な事業を実施します。

一つ目は、2月20日から23日までの4日間、伊賀上野城下町にて、イベント形式の実証実験として「IGA NINJA WEEK 2021」を開催します。

このイベントは、観光庁の「誘客多角化等のための魅力的なコンテンツ造成における実証事業」の採択事業として、伊賀上野DMO（伊賀上野観光協会）を中心に実施するもので、新たに開発したオリジナルアプリを使ったまち歩きや、観光まちづくり企画塾にて企画された新しい伊賀の土産物の販売会など、様々な企画を準備しています。

二つ目は、忍者市市長による市内小学校での出前授業です。

郷土愛を育むと共に将来へ向けたまちづくりへの意識の醸成を図るため、郷土の文化である「伊賀流忍者」を子ども達に知っていただくため、2月17日に島ヶ原小学校の6年生児童を対象に、私自身が出前授業を行います。この出前授業は、今回で4校目となり、忍者市月間の恒例の行事となりつつあります。なお、授業の後には、忍術をモチーフにした給食が提供され、私も児童といただくことにしています。

三つ目は、忍者図書館です。

伊賀市上野図書館では、忍者市月間に合わせて忍者に関連した資料や絵本の特集及び展示、また忍者のしおりやチラシの配布を行います。

なお、お越しの際は、マスクの着用や手指の消毒など、感染対策にご協力いただきますようお願いいたします。

主な質疑応答の概要

【伊賀市における GIGA スクール構想の推進について】

記者：コロナ禍で休校時にリモート授業でタブレットを使用することを想像してしまいましたが、GIGA スクール構想はあくまでも学校内で使うというイメージですか。

学校教育課：原則、学校の授業で活用するというになっております。4月以降は、まず子どもたちに操作等を慣れてもらう期間と考えております。ただ、昨年3、4月のように長期休校になった場合、リモートを活用して家庭と学校を繋ぐ準備だけは整えています。

記者：GIGA 構想は、国を挙げて進めていくことで子どもの教育にとって大変素晴らしいことだと思います。(タブレットを扱って授業を進めていく上で)地域で知識を持っている方をボランティアなどで学校教育の中に取り込んでいくといった計画はありますか。

学校教育課：まずは、教員がそれを使いこなすということが第一であると感じております。実際に使うための担当者研修や、3月からは、校内全ての教職員による研修を終えて4月から授業に入ります。しかし、授業の中で実際に使ってみないとどこに不具合が生じるか、どこに効果が表れるかというのはわかりません。まず1年目は、教師も児童もタブレットの操作に習熟する。そして、色々な場面で活用しながら活用方法を開拓していく。そのような1年になると思います。その上で、現在各学校で学校支援地域本部事業というのを進めておりますので、各地域のボランティアの方、特にパソコン等に長けた方に授業へ入っていただくような流れを今後作っていきたいと考えています。

記者：全ての子どもがタブレットを持ち家庭でも学習することになれば、保護者がそれを使いこなす子どもに指導できる家庭とできない家庭があると思います。保護者へ教育することのお考えはありますか。

学校教育課：あくまで学校教育の一環としてこのGIGA スクール構想は成り立っています。使用方法等については、学校でしっかり指導することを大原則としています。

【伊賀上野城下町ホテル事業 PR 動画が完成しました】

記者：今日から YouTube で配信ということで、配信した時いかに見てもらえるかという工夫が大事になると思いますが、例えば、市職員が SNS にアップしたりするなどの工夫はありますか。

空き家対策室：まず、NIPPONIA ホテルや伊賀に来ていただくためのターゲット層を設定しており、PR 動画の案内をさせていただきます。JR 西日本との連携による顧客情報の中から、関西や中部圏のターゲット層へ3月のGoToトラベルが再開するタイミングで配信をします。これをきっかけにインターネットサイトを検索

していただくということをめざします。その他に伊賀市 Facebook 等でも発信していきたいと思います。

記者：ホテルの3棟目はいつオープンしますか。

空き家対策室：今年のゴールデンウィークまでには開業できるように、最終工事を急ピッチで進めています。

【伊賀市空き家バンク「オンライン内覧会」を開始しました】

記者：コロナによって伊賀市へ下見に来ることができないため、オンラインによる物件内覧をやるという方法は、理にかなったことだと思います。これは物件にスタッフが行きカメラなどで中継するというイメージですか。

空き家対策室：はい。伊賀市の空き家バンクには、これまで約 1,000 件の利用登録者があり、登録者にオンライン内覧会の案内をしています。内覧の手順は、事前に希望物件の予約を取っていただき、市職員と不動産業者が現地で iPad を用いて外観や周囲を映して会話をしながら見ていただく方法です。

記者：1月に利用された方は成約されましたか。

空き家対策室：まだです。

記者：コロナ禍となり、移動の自由が制限され成約に結び付きにくい状況かと思いますが、リモートワークということも言われるようになり、実は地方への移住にとっては追い風になるのではないかとも思います。移動の不自由とリモートワークの普及が、逆風と追い風の両方あると思いますがどのようにお考えですか。

空き家対策室：関心は確実に高まっています。問い合わせやホームページのアクセス数もかなり増えており、都市部の方が注目していただいているのは間違いありません。一方で、希望者が現地へ出向くことや、契約といった行動まで移っていないことは実感しております。この取組を基にして、これからオンライン化を進めてサポートしていきます。

2. 2月の主な行事予定

(1) 企画展示「歴史資料とデジタル化」の開催

- 日 時 2月3日(水)～3月30日(火)
※休館日：毎週月曜日、3月2日(火)(図書整理日)
- 場 所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー
- 内 容 「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」の操作方法や説明文とともに、
実際の資料を展示
- 担 当 伊賀市上野図書館(電話 0595-21-6868)

(2) 「2020年度 郷土の歴史夜咄会」其の30の開催

- 日 時 2月19日(金) 午後6時～午後7時30分
- 場 所 ハイトピア伊賀5階 多目的大研修室
- 内 容 「こうちょうしょりん なかいちひろむ甲烏書林と中市弘」
- 講 師 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 楯夫 氏
- 担 当 伊賀市上野図書館(電話 0595-21-6868)

(3) 人権啓発パネル展の開催

- 日 時 各会場により異なります(詳細は別紙をご覧ください)
- 場 所 本庁・市民館等
- 内 容 「同和問題」、「LGBT(性的マイノリティ)」、「世界人権宣言」、
「2020年度いがまち人権センター活動紹介」
- 担 当 人権生活環境部 人権政策課(電話 0595-26-9683)

(4) 伊賀市本庁舎アート情報(2月展示)について

- 日 時 2月2日(火)～2月25日(木) ※華道は2/26まで
午前8時30分～午後5時15分(市役所の開庁時間に準ずる)
- 場 所 伊賀市本庁舎(4階)市民ミニギャラリー
(1階)玄関横
- 内 容 (4階) 絵 画：飯田淳子さん
(1階) 絵 画：荻 太郎
華 道：伊賀華道協会
- 担 当 企画振興部 文化交流課(電話 0595-22-9621)